

人文学プログラムにおける

博士課程後期修了(課程博士)のための研究計画及び学位申請要領

令和2年4月1日教員会制定

令和3年3月19日教員会一部改正

令和4年6月16日教員会一部改正

博士課程後期の学生の修了(課程博士)については、「広島大学大学院規則」、「広島大学大学院人間社会科学研究科細則」、「広島大学学位規則」及び「広島大学学位規則人間社会科学研究科内規」等の規定によるが、人文学プログラムにおける研究計画及び学位申請手続等は、以下のとおりである。

なお、これは令和2年度以降に入学又は進学する学生に適用するものである。

(1年次)

1. 研究題目届の提出

学生は、主指導教員の承認を得て研究題目届を提出し、人文学プログラム教員会(以下、教員会という。)の承認を得なければならない。

提出物	提出先	締切	
		4月入学	10月入学
研究題目届	支援室	4月30日	10月31日

2. 研究計画概要の提出

学生は、指導教員の指導により研究計画を定め、主指導教員の下承を得た上で、研究計画概要を提出し、教員会の承認を得なければならない。

提出物	提出先	締切	
		4月入学	10月入学
研究計画概要	支援室	5月31日	11月30日

(3年次)

予備審査 博士論文の提出の可否を判断するために予備審査を行う。

3. 博士論文予備審査願の提出

博士論文を提出しようとする者は、以下のとおり博士論文予備審査願等を提出する。

提出物	提出先	提出期間		
		3月修了	9月修了	3年を超えて在学する者
博士論文予備審査願	支援室	3年次の 4月1日～ 10月31日	3年次の 10月1日～ 4月30日	随時
博士論文概要 博士論文の草稿	主指導教員	主指導教員の 指示に従うこと	主指導教員の 指示に従うこと	主指導教員の 指示に従うこと

- 教員会における博士論文予備審査願の審議は、原則、5月、9月、11月及び2月に行う。
- 博士論文概要及び草稿の体裁や提出方法は、主指導教員の指示に従うこと。
- 博士論文予備審査願を提出するためには、研究倫理教育(大学院生Advanced(D))を受講していなければならない。

4. 予備審査の受審要件

博士論文予備審査願の提出までに、博士論文の成果の一部が査読制度のある学術誌に論文として1本以上掲載されていること。

- 掲載の時期は、在籍中に限る。
- 掲載決定済でも可。
- 共著の場合は、第一著者に限る。

5. 予備審査委員会の組織

博士論文予備審査願が提出された場合、予備審査委員会を組織し、その構成員について教員会の承認を得る。

なお、予備審査委員会の構成員は指導教員グループとし、教員会で承認された場合には、審査委員を変更することができる。

6. 予備審査の実施及び審査結果の承認

予備審査は公開で実施する。

予備審査の開催日時等は、支援室から教員会構成員に通知する。

予備審査の結果は、原則、予備審査願が承認された翌月の教員会で承認を得なければならない。

本審査

7. 博士論文の提出

予備審査の合格が承認された場合、学生は以下のとおり書類を提出する。主査予定教員は、教員会開催までにメール等で論文提出者名、論文題目名、論文目次、受理予定年月日、その他必要な事項を教員会構成員に対し通知する。

提出物	提出先	締切		
		3月修了	9月修了	3年を超えて在学する者
① 学位論文審査願 1通	支援室	1月7日	7月7日	随時
② 論文目録 3通				
③ 学位論文(※1) 4通				
④ 論文の要旨(※1) 3通				
⑤ 履歴書(※1) 3通				
⑥ 連絡先(※2)				
⑦ 博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書 1通				

- ※1はPDFファイルも併せて提出。
- ※2はWEBフォーム入力による提出
- 学位論文の体裁等は主指導教員の指示に従うこと。
- 学位論文は仮製本も可とする。

8. 学位申請論文の受理

論文が提出された後、教員会が当該論文を受理するか審議し、受理が認められた場合は、審査委員会の構成を審議する。

審査委員会の構成は、広島大学学位規則人間社会科学研究科内規第7条のとおりとする。

なお、学位論文審査に係る学外審査委員は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 当該専門分野における博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有し、研究上の顕著な業績を有する者
- (2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者
- (3) 当該専門分野において、特に優れた知識及び経験を有すると認められる者

9. 論文の審査及び試験の実施

- (1) 受理が認められた後、論文の審査及び試験を実施し、主査は、論文審査の要旨及び試験の結果の要旨を、3月修了の場合は2月25日、9月修了の場合は8月25日までに提出する。
- (2) 3年を超えて在学する者にあつては、研究科代議員会で博士論文の受理が承認された日から6か月以内に終了するものとする。
- (3) 論文の審査及び試験に合わせて公開発表会を開催することとし、主査はその旨を事前に教員会構成員にメール等で通知する。
- (4) 当該学生は、論文の審査及び試験後、支援室に以下のとおり書類を提出する。

提出物	提出先	締切		
		3月修了	9月修了	3年を超えて在学する者
① 学位論文(ハードカバー)(※) 2通	支援室	2月25日	8月25日	支援室の指示に従うこと
② 論文の要約(※) 1通				

- ※印はPDFファイルも併せて提出。
- ②は広島大学学術情報リポジトリに論文の全文に代えて要約を公表したい場合のみ提出。様式は任意。

- (5) 審査委員会の審査及び試験を経て、教員会及び研究科教授会の審査に合格し、広島大学人間社会科学研究科細則に規定する修了要件を満たしたものは、博士課程後期を修了するとともに所定の学位を取得できる。
- (6) 審査に不合格の場合、再度博士論文を提出する際の予備審査は免除する。ただし、主指導教員が必要と判断した場合には、再度予備審査を実施することができる。

(注意事項)

- 上記の期限は、当該期日の午後5時とする。
なお、当該期日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日の場合は、以後最初の平日をもってその期日とする。
- 上記の「支援室」は、人文社会科学系支援室(文学事務室)を指す。
- 上記の内容にかかわらず、特別な事情があるときは、教員会の議を経てプログラム長が決定する。